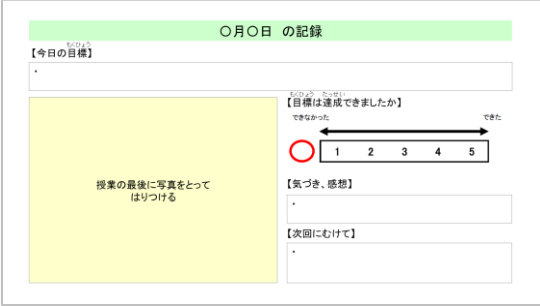
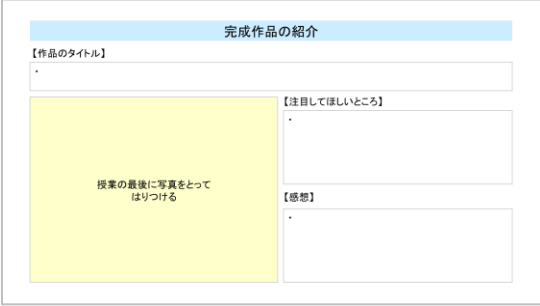


# おすすめICT活用事例のご紹介

区分		学年	教科等	単元等	活用ソフト	
小		456	図画工作	制作過程の記録	プレゼンテーションソフト	
授業内容	制作過程を記録し、次時の取り組みにつなげる				活用ツール	写真挿入、テキスト入力
	<p>準備：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>ワークシート用ファイルを準備する。「予定」のスライドに「授業日」と「やること」を入力しておく。</li><li>ワークシート用ファイルを課題として子供たちにコピーを配付する。</li></ul> <p>授業の流れ：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>各授業の最初に「日付」「今日の目標」を入力する。</li><li>作品の制作に取り組む。</li><li>授業の最後に作品の写真を撮ってスライドに挿入し、「目標は達成できましたか」「気づき、感想」「次回に向けて」を入力する。</li><li>次時からは「今日の目標」を入力する際に前時の入力内容を確認する。スライドを複製して「日付」「今日の目標」を編集し、作品の制作に取り組む。</li><li>作品が完成したら、完成作品の紹介スライドに作品の写真を挿入し、「作品のタイトル」「注目してほしいところ」「感想」を入力する。</li></ol>				毎時の記録	
					完成作品の紹介	
ICT利活用のポイント		<ul style="list-style-type: none"><li>写真をスライドに挿入することで、制作の過程を視覚的に記録することができます。</li><li>前時までの記録を見返すことで、反省や留意点を意識した上で続きに取り組むことができます。</li><li>ファイルを課題として管理することで先生が子供たちの進捗やつまずきを確認することができます。</li></ul>				
おすすめポイント		<ul style="list-style-type: none"><li>進捗を記録することで「今日は集中して取り組むことができた」「今日はあまり進まなかった」等、自身の状況を客観視することができます。制作の進み具合によって、子供自身で予定を変更することもよいでしょう。</li><li>見通しを持って制作する力や、前時の反省を活かして取り組む力を育成します。</li></ul>				